

じょうもんSDGs大賞2026 表彰式



令和8年10月17日(土)



じょうもんSDGs大賞2026 受賞作品



一般の部

最優秀賞 松本 邦文

縄文時代の代表的な出土品の一つに「土偶」があります。出土された「土偶」を参考にして、多産や豊穡への祈りを込め、SDGsの観点から不要になったダンボールで「私の土偶」を製作しました。製作にあたっては、イメージとして土偶を輪切にし足からダンボールを切り取り積み上げて作りとげました。飾りには、平らな加味（ライナー）と波状の紙（ミディアム）を組み合わせデザインしました。大きさは横20cm、奥行9cm、高さ30cm。

一般の部

優秀賞 けんけん（長屋 憲慶）

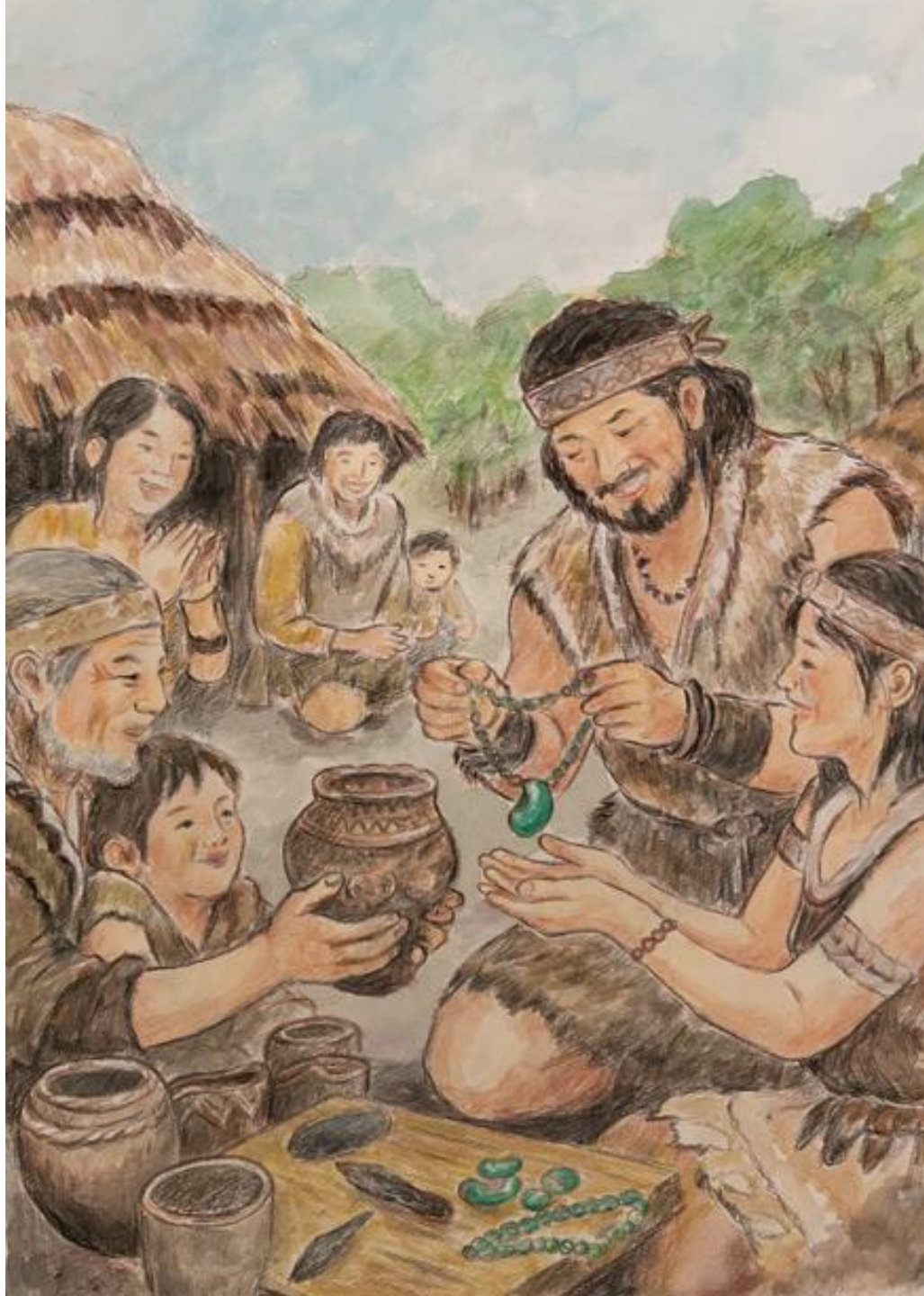
縄文人はどんな装備でお出かけ（狩猟採集）していたんだろうか？考古学的な裏付けはさておき、想像のままだけに作りました。小ぶりのカバン（サコッシュ）は鹿の毛皮製で、留め具にはタカラガイと貴石を使いました。カバンのなかには、万能ナイフの石さじ、予備の矢尻、鹿角製の釣り針、穴あけ用のドリル、二枚貝に詰めた薬草（塗り薬）が入っています。



208

けんけん

縄文人はどんな装備でお出かけ（狩猟採集）していたんだろうか？考古学的な裏付けはさておき、想像のままだけに作りました。小ぶりのカバン（サコッシュ）は鹿の毛皮製で、留め具にはタカラガイと貴石を使いました。カバンのなかには、万能ナイフの石さじ、予備の矢尻、鹿角製の釣り針、穴あけ用のドリル、二枚貝に詰めた薬草（塗り薬）が入っています。



一般の部

優秀賞 山内 久

縄文人の生活は自給自足で、まさに「SDGs」そのものだと思います。自分たちの必要なものは自分たちでつくり、また、他の人たちにも分け与え、助け合いと思いやりの気持ちで社会が成り立っていました。我々現代人も見習うべきだと思います。



小中高校生の部

最優秀賞 高橋 律人

むかしは、ゴミがなかったの
になあ



小中高校生の部

優秀賞 鈴木 いち乃

縄文時代の風景を考えながら書きました。
おしゃれを楽しんだり、ものづくりを楽し
んだりする時間も大切だったのかなと
思いました。木の実を拾ったり湖で魚を
とったり自然のものを大事にしていたん
だなと思いました。



小中高校生の部

佳作 福谷 壮央

土の塊から、まるで生きているような不思議な形を作っていくのは、ものづくりの楽しさがつまっていて本当にワクワクしました。縄文時代の土偶にある、力強くてどこかかわいいデザインに引かれて、自分の手で同じように作ってみたい！と強く思ったのがきっかけです。土の気持ちいい感触を楽しみながら指先に集中して時間を忘れてしまうほど夢中になれて最高の思い出になりました。大昔は、土偶に願いを込めたと聞いてぼくもみんなが元気でいられますようにと思いながら作りました。

縄文のSDGs



小中高校生の部

佳作 大野 皓輝

昔からされていた縄文のリサイクルを描きました。縄文の人を見習い、地球に優しくして少しでも地球温暖化が弱まってほしいという願いを込めました。竪穴式住居の藁を丁寧に描きました。